

福井県の中学生の試合についての申し合わせ事項の確認

○試合のマナーについて

- ・試合前後には、挨拶時に握手をするようにする。
団体戦では、団体戦の整列の挨拶の時に、自分の前の人と握手をする。
個人戦では、本部トスの場合は本部でトスをする前、コートトスの場合はコートでトスをする前に握手をし、試合後の挨拶時にも握手をする。

○イエローカードの適応場面

- ・審判のジャッジへの抗議
文句を言う。ボールの痕跡を指さす。質問を何度も繰り返す。 など
- ・非紳士的な言動
ライン際のボールに対して、審判の判定前に「ラッキー」などの発声をする。
相手に対して威嚇的な言動をとる。相手のミスを執ように叫ぶ。
相手に詰め寄るようなガッツポーズ。シャツを出している。 など
- ・遅延行為
靴ひもを何度も結び直す。一本ごとにペアと相談する。 など
- ・規定された時間・場所以外からのアドバイス
ゲーム中のポイント後の監督・コートからのアドバイス
観客席などベンチの監督・コーチ以外の人からのアドバイス など
- ・チェンジサイズ時のアドバイスが長く、注意を受けた後もアドバイスを続ける。
アドバイスは1分以内。(1分以内とは前のゲームが終了して、次のゲームのプレーを始めるまでの時間である。)

○選手の服装について

- ・シューズは白を基調としたものとする。それ以外のものをはいている選手は、棄権扱いとする。
- ・シャツ出し、袖をまくり上げてのプレーはイエローカードの対象とする。
- ・ソックスは、遠くから見てもソックスをはいていることが分かるようものを原則的に履くようにする。
- ・襟付きの半袖シャツを着てプレーする。襟付きとは、襟を折り返すことができるものをさす。ただし、蛍光色もしくは蛍光色かどうか疑わしいものは着用しない。
- ・アンダーウェアは着用してもよいが、見えないものを着用する。
- ・原則的に全ての大会でゼッケンをつけてプレーする。学校の体操服を認める大会は体操服の場合はゼッケン無しでのプレーを認める。
- ・大会本部より指示がない限り、襟付き半袖シャツ・短パンまたはスコートでプレーする。
- ・夏季期間中（7月～8月）の大会は、熱中症防止のため必ず帽子を着用して、プレーをする。かぶらない場合はイエローカードの対象とする。サンバイザーは帽子とは認めない。春季・秋季の大会もできる限りかぶるように推奨する。

○監督・コーチのマナーについて

- ・原則、監督・コーチはベンチに座って試合を観戦する。
- ・ポイントごとに指示を出すのは、イエローカード対象の行為
- ・服装は、選手に準ずる。
襟付きの半袖シャツが原則。日焼け防止のため長そでを着ていることは認めるが、Tシャツでのベンチ入りは禁止。必ずシューズ着用のこと。ソックスも選手に準ずる。（色・長さに注意してください。）
シャツだしや首にタオルを巻いてベンチに入ることもしないでください。
- ・コート内に椅子・傘を持ち込まない。（クーラーボックスの持ち込みは可とする）
- ・外部コーチの方も、上記の内容を必ず守って下さい。守れない場合は、ベンチ入りを認めません。